

## 障害者雇用優良事業所、優秀勤労障害者の表彰

障害者雇用支援月間（毎年9月）に合わせ、平成26年9月8日に「平成26年度全国障害者雇用優良事業所等表彰式」が開かれ、その中で村木厚生労働事務次官が長年障害者雇用に御尽力のあった障害者優良事業所等に対し表彰を行いました。

厚生労働省では、毎年9月に障害のある人を積極的に多数雇用している事業所、障害のある人の雇用の促進と職業の安定に著しく貢献した団体又は個人、及び職業人として業績をあげている勤労障害者に対し、厚生労働大臣表彰を行っています。

表彰者の方々の日々の御尽力を讃えるとともに、障害のある人の職業的自立の意欲を喚起することや、障害のある人の雇用に関する国民の関心と理解を一層深めています。

平成26年度は、34社の障害者雇用優良事業所と、22名の優秀勤労障害者に表彰を行いました。

## 第35回全国障害者技能競技大会

全国障害者技能競技大会（アビリンピック）は、障害者が技能労働者として社会に参加する自信と誇りを持つことができるよう、その職業能力の向上を図るとともに、広く障害者に対する社会の理解と認識を深め、その雇用の促進を図ることを目的として開催されている。

平成26年度は、11月21日から11月23日までの3日間にわたり、愛知県において第35回全国障害者技能競技大会が開催された。

大会には、技能競技24種目に全国から332人の選手が参加し、日頃培った技能を競いあうとともに、雇用拡大が期待される「クリーニング」、「フォークリフト操作」の2職種による技能デモンストレーションが実施された。

会場では、第35回アビリンピックの開催に併せて、障害者の職業能力及び雇用に関わる展示、実演、作業体験などを行う複合的なイベントである「障害者ワークフェア2014」が同時開催され、盛大な大会となった。



電子回路接続種目競技風景（第35回大会）



縫製種目競技風景（第35回大会）